

有年の空

文責 塩田 進 TEL49-2081

< 今月の俳句 >

「春寒し 一歳とある 死者名簿」

読売新聞俳壇より、見つけました。東日本大震災を詠んだ句です。何と悲しい句だろうと思いました。この子は、もう歩き始めていたのではないだろうか、これからトコトコ走り始めるようになり、言葉もだんだん話せるようになり、やがては、1年生として小学校へ入学してくるはずだったでしょう。その後は、どんなにか楽しくて輝かしい人生が待っていたでしょう。

そして、この子のお母さんお父さんは無事だったのだろうか。兄弟はいたのだろうか、お祖父さんお祖母さんは・・・。

そう考えていくと、この子自身の無念さとご家族の無念さに心が張り裂けそうに痛みます。

先日の全校集会で、子どもたちに大震災の話をしました。

わたしたちが出来ることは何か。

復興のために募金をして送ることはもちろんですが、もう一つ大事なことは、この一歳の子のように、亡くなった人たちの無念の気持ちをくみ取り、元気で生きているわたしたちが、この人たちの分もしっかり生きていくことだと話しました。

放課後子ども教室

連休明けから放課後子ども教室が始まります。

1～3年生の子ども達にとって、良い居場所となって、高学年と一緒に安全な下校ができます。指導員の方、下校当番の方よろしくお願いします。

緑のカーテン

今年も「放課後子ども教室」の窓の外に、日よけを兼ねてゴーヤを植えます。やがて、蔓が伸びて、花が咲くでしょう。収穫が楽しみです。

< 先生からのコーナー >

今回は、保健室の 広島有子 先生です

今年度も月1回、子どもたちが、地域の橋本晴美さんと山本隆子さんに生け花を教わります。

先日の第1回目の指導日には、20名以上の子どもたちが集まり、どの子も目をキラキラと輝かせながら楽しく活動ができました。

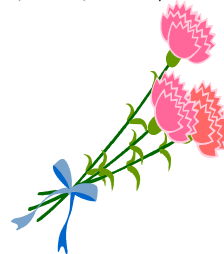
このような元気な子どもたちと一緒に生け花ができることを

幸せに思うと共に、

お二人の温かさを

いただきながら、

私も、日々成長していきたいと思えます。



- ★ 下校の当番でお世話になっている方から、今年は蜂が少ないという話を聞きました。梅の花に蜂が来ないから、実がなるかどうかと心配されていました。そういえば職員室前の満開のソメイヨシノに、虫が飛んできていません。例年なら、ミツバチや真っ黒の熊ん蜂まで来て、ぶんぶん羽音をさせているのですが、まだ寒いからでしょうか。